

# 林野庁令和9年度 予算概算要求の概要について

8月31日、農林水産省は令和9年度予算の概算要求を財務省に提出しました。ここでは、林野庁関係予算の概算要求の概要をご紹介します。

令和9年度の林野庁の一般会計予算の要求総額は3,956億円で、このうち公共事業費は2,562億円、非公共事業費は1,393億円で、対前年度比では127.1%となっています。

そのうち今回初めて設定された『強く豊かな日本』投資枠（以下「投資枠」という。）としては、370億円を要求しています。具体的には、「森の国・木の街」創造連携イニシアティブ事業を新設、川上から川下までの関係者が連携した生産性・付加価値向上の取組に優先枠を設け、国産材サプライチェーンの強化を重点的に支援するほか、林業適地での路網整備・再造林、スマート林業技術、木質系新素材の開発・実証、さらに花粉症対策苗木生産の環境として、細胞増殖技術を活用した苗木大量生産技術開発等を、投資枠活用事業として計上しているところです。

また、要求額の3分の2近くを占める公共事業については、国土強靱化等の観点から、森林整備・治山対策を着実に実施するために必要な経費を要求しています。

## 令和9年度 林野庁関係予算概算要求の概要

| 区 分      | 令和8年度当初予算額<br>(億円) | 令和9年度概算要求額<br>(億円) | 対前年度比<br>(%) |
|----------|--------------------|--------------------|--------------|
| 公共事業費    | 1,992              | 2,562              | 128.6        |
| 一般公共事業費  | 1,899              | 2,469              | 130.0        |
| 治山事業費    | 628                | 816                | 130.0        |
| 森林整備事業費  | 1,271              | 1,653              | 130.0        |
| 災害復旧等事業費 | 93                 | 93                 | 100.0        |
| 非公共事業費   | 1,120              | 1,393              | 124.5        |
| 合 計      | 3,112              | 3,956 +事項要求(※)     | 127.1        |

(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金の中で、林野庁関係事業を措置している。

2 金額は、関係ベース。

3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※ 「第1次国土強靱化実施中期計画」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費及び飲食品の消費税率の引下げに係る経費については、事項要求として予算編成過程で検討。

非公共事業費のうち主な対策と公共事業費のポイントは以下のとおりです。

※ 各要求額の下の一は令和8年度当初予算。

① 「森の国・木の街」  
創造連携イニシアティブ事業  
83億円（一）…投資枠該当

都道府県が策定する「森の国・木の街創造連携計画」（仮称）に基づき、川上から川下までの関係者の連携による生産性や付加価値の向上の取組（森林の集積・集約化、スマート林業技術の実装、路網整備、木材製品の付加価値向上、都市の木造化・木質化等）について、関連施策（②③④）の優遇措置により国産材サプライチェーンの強化を重点的に支援します。

② スマート林業等  
新技術推進総合対策  
7億円（3億円）…投資枠該当

デジタル情報の基盤整備、スマート林業技術の導入環境整備、フィジカルAー等の先端技術を活用したスマート林業機械・機器等や木質系新素材の開発・実証、地域一体

での林業DXの実現に向けた戦略拠点の構築等を支援します。

③ 森林循環利用・付加価値創出対策  
186億円（92億円）

森林資源の循環利用と付加価値の創出を推進し、林業・木材産業の成長を持続可能なものとしていくため、林業・木材産業の基盤整備、集積・集約化、先進的な林業機械等の導入、森業を通じた森林価値の創造、非住宅分野の木造化等、川上から川下までの取組を支援します。

④ 森と木の人材育成・確保総合対策  
57億円（49億円）

「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の者への給付金給付、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策、木造建築物の設計者・施工者育成等の取組を支援します。

⑤ 森林の総合保全対策  
22億円（7億円）

効果的・効率的なシカ捕獲の取組や、森林病虫害による被害の抑制等の森林の総合的な保全対策を推進します。

# 「森の国・木の街」創造連携イニシアティブ事業

## 森の国・木の街創造連携計画（仮称） （都道府県が作成）

### 【主な記載内容】

- ・地域の強みを活かす森林・林業・木材産業の将来像
- ・各種取組の方針や森林・林業基本計画と連動した  
目指す将来見込の設定

### ＜各種取組のイメージ＞

- 林業適地のゾーニング
- 森林の集積・集約化
- 路網等の基盤整備
- スマート林業技術の実装
- 木材製品の付加価値向上  
需要拡大

- ・計画の作成と合わせて川上から川下までの関係者・  
企業、一般市民等による協議会等の場を設け、  
木材に係るコスト構造（※）等の相互理解の醸成  
や、再造林基金・森林J-クレジット等の活用等の  
民間投資の呼び込みに向けた取組

※ 再造林や素材生産から木材加工、消費に至るまでの木材に係るコストのことを指す

## 集中的に支援を行う取組

左記の計画に基づいて行われる以下の先進的な取組等に対して、  
森林循環・付加価値創出対策等の関連事業で優先枠の設定等  
の優遇措置を設け、集中的に支援

### 【主な取組】

#### 1 森林の集積・集約化

- ・リモートセンシングデータ等を  
活用した省力的な境界明確化等



#### 2 路網整備・機能強化等、省力・低コスト再造林

- ・木材供給に直結する路網整備等



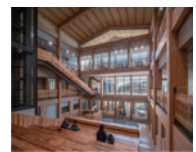
#### 3 スマート林業技術の実装

- ・遠隔操作、自動運転、データ連携等の  
スマート林業機械の導入、地域における  
林業DXの推進



#### 4 木材製品の付加価値向上・需要拡大

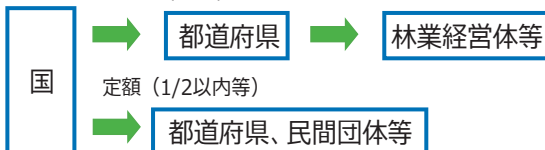
- ・大径材を用いて付加価値の高い製品を  
生産する木材加工流通施設整備等や  
それらを活用する木造公共建築物の  
整備等
- ・上記の施設整備と一体的に行う原木  
流通のICT化や需給・価格・コスト  
情報の共有促進等の対策



写真提供：  
株式会社 竹中工務店

## ＜事業の流れ＞

定額（1/2、1/3以内等）



## ＜関連する事業のイメージ＞

|                                        |                  |       |
|----------------------------------------|------------------|-------|
| 「森の国・木の街」<br>創造連携<br>イニシアティブ事業<br>83億円 | 森林循環利用・付加価値創出対策  | 186億円 |
|                                        | スマート林業等新技術推進総合対策 | 7億円   |
|                                        | 森と木の人材育成・確保総合対策  | 57億円  |

### ⑥ 花粉症解決に向けた総合対策 73億円（0・4億円） …うち投資枠28億円

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、  
スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生  
産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確  
保、花粉飛散量の予測・飛散防止、スギ花  
粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検  
証等の取組を推進します。

### ⑦ 森林整備事業（公共） 1,653億円（1,271億円） …うち投資枠254億円

森林吸収源の機能強化や国土強靱化、森  
林の集積・集約化の加速化に資する、間伐、  
主伐後の再造林、林道の開設・改良等の推  
進に加え、林野火災対策、クマ類等対策、  
花粉発生源対策としての伐採・植替え、路  
網整備等を推進します。

### ⑧ 治山事業（公共） 816億円（628億円）

大規模災害の被害拡大防止に資する国直  
轄での集中的な復旧整備、山地災害を未然  
に防止し、生活環境基盤の確保に資する緊  
急輸送道路等への予防保全など、治山対策  
を効果的・効率的に推進します。